

第68回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	講評	講評(課題)	安田先生講評
1	四天	石川	343	「私」の声の表情を、そして、地の文はもう少し淡々としてもいい。会話文と地の文の変化が分かりづらい。明るく聞き取りやすい声。突然明るくなったり暗くなったりする。場面に合わせた表現を。話し言葉の息で区切ろう。表現の仕方が工夫されている。抽出箇所を工夫するともっと良い。聞き取りやすい。サ行注意。会話文の始まりの「わたし」がわかりにくい。どうして「思っていなかった言葉が出た」のか、この場面ではわからなかった。	天外のセリフ、千栄子の心中詞が今一つ。文末やや苦しそう。最後3行、もっとじっくり。スピード単調。声に変化をつけようとしていることがわかる。天外の言葉のトーンに違和感あり。千栄子の言葉に迫力がほしい。	「荻原」など、アクセントの高低差が狭すぎる箇所があります。「頭を」など、母音が口ごもっている箇所があります。「ここへ来たら」から音量が上がってしまいました。「られるだろう」が邪魔でした。「そうやって手に入れた」の「てて」が滑りました。「また来るから」は、そんなに大声で区切っていましたか？積極的な語り口は良いと思いました。課題。「ちえこ」に聞こえます。「叱咤する」のアクセントは頭高だと思います。
2	アサ国	馬場	347	エリザベスの発声が少し弱い。会話文は良いが、地の部分が少し速い。地の文をもう少しハッキリさせたい。ミスターダーシーの声の表現がほしい。全体に低いのでは？文末がやや消え気味で聞こえづらい。セリフと地の文がやや複雑。ミスターダーシーの落ち着きが良い。語尾のび、ある。少し速くて音のつぶれるところあり。最初の数文の言葉が聞き取りにくい。ラストの一文、工夫がほしい。	モノローグ、良い。「必ずできるんや」の間、不要では？スピードに変化をつけようとしていることがわかる。心中詞、伝わりました。	「2番」など、アクセント高低差が不十分な箇所があります。「おちさま」に聞こえます。「ドアの前」など、滑舌の限界を超えて急いでいる箇所があると思います。地の文が低音になりすぎ。逆に、せりふだけが急に別の声になるので、放送部アナウンサーの朗読としてはバランスが今一つだと思います。「任せてください」は、そんなに優しくかわいらしく言ったかな？「無さそう」など、全ての音に責任を持ってください。課題。表情もなくつぶやいたって書いてるのになあ…？ちえこは、そのまま劇のせりふにできるようなしゃべりかたをしたのかな？
3	相愛	中脇	入選	全体的に聞き取りやすい声。会話文は良いが、地の文をもっとフラットに。人物や情景がもう一つ理解できない。地の文にももう少し高低をつける。地の文、やや苦しそう。ちょっとあわてて聞こえる。セリフ、良い。間の取り方に工夫を。虹の場面、何故、暗い？地の文とセリフの変化に工夫をしている。セリフ上手です。「坂を」の「を」が聞こえませんでした。	天外がはっきりしない。千栄子の声が震えているのはなぜ？「今、弱気になったらあかん」は演技しすぎ。演劇調。心中詞の涙声には違和感があります。	ややマイクから遠かったかな？「雨」など、アクセントが不安定な言葉があります。あかねは、どのくらいませてるのかな？「とうちゃんは」など、せりふではない箇所でも語尾が伸びる箇所があります。音量の幅がありすぎて、スピーカーから聞くと少し聞きづらいです。後半の地の文が低音に頼りすぎでした。課題。大きな衝撃を受けてうなだれる人は早口になるかなあ？ちえこのせりふが、ちょっと物まねっぽくなったと思います。
4	桃山	津田	336	声がよく届く。セリフと地の文との変化が少し弱い。店主が若い。引用の助詞「～という」が高い。文末をしっかりと。演技しすぎ。店主が客に話しかけていますか？店主の人物像は？地の文はいい。落ち着きほしい。セリフが歌うように喋っている。しゃべり。タイトルコール、良いです。セリフ上手です。地の文が速くて聞き取りにくい。ラスト、一文、工夫を。	自分を失跡していない。千栄子の思いはどう？「今、弱気になったらあかん？」の間、不自然。キャラクタ設定不安定。スピード速い。全体、早口に聞こえました。	「理髪店」がやや急いだ。魅力的な深い声ですちえ。でも、とこやおちゃんとしては、かっこよすぎだよ。「3色」から急に高いのはおかしいです。吹かれに注意。母音の発音が、放送部アナウンサーとしては雑だと思います。「ブランコ」の修飾語の途中にプレスが入っています。こういうのを見つけてしまうと、読解力やアナウンサーとしての力が疑われてしまいます。課題。冒頭のうつつなつぶやきは上手だったと思います。「と崩れ落ちそう」は、聞きづらいですね。「と」は、基本的には手前につづく言葉だと思います。
5	信愛	橋本	330	場面セレクト、良い。5番のアクセント。店主の語り口、これでいいか？場面に合わせた表現になっているか。主人のセリフ、そんなに早口で告白する？主人のキャラクター設定に違和感。中ごろからよくなってきた。もっと変化をつけるといい。「いや～」の文、違和感があります。罪の告白の箇所に違和感があります。最後の一文に工夫を。	天外のつぶやきの表情。千栄子の思いが弱い。セリフは話し言葉の息で。千栄子が崩れ落ちそうになっていない。表現に工夫がある。大阪弁、ところどころ違和感があります。	5番のアクセントは平板です。店主の言葉、もっとじらしでも、いいと思います。「突然…たのです」まで一息でいいと思います。店主の言葉が、全体として読み口調なので残念です。「無性に腹が立ちました」の「無性に」が低いのはおかしいです。「何を…となって」まで一息だと思います。うまく読めたら面白いシーンだったんだけどなあ…。課題。「今弱気に…」は、自分を叱咤してるというより、大勢に向かって言ったように聞こえました。関西弁にするのなら、鼻濁音は無くてもいいと思います。
6	四天	大平	333	声が聞き取りやすい。テンポ良い。セリフと地の文に間がほしい。フレーズの切り方に工夫を。情景はよくわかる。最後、もっとはっきりと。地の文の表現、工夫しましょう。自然な話し言葉で。名前を思い出せないシーン、もっと間で表現してみましょう。音づぶれている箇所がありました。ずり上がりで読んでいる。「引きつらせる」の高さ、それでいい？ラ行とマ行、注意。良い場面。	天外のセリフに命がない。千栄子の決意、弱い。文全体、イントネーションに工夫を。高低の幅が狭い。表現にももっと工夫をしましょう。千栄子の言葉に、もう少し力がほしい。「さえ」に力が入りすぎ。	タイトルコール、もうちょっと音域を広く使って積極的にしてほしいです。「次の…必要だった」など、地の文が低音ばかりになっていることで、全体が絶望落胆色に塗られているように聞こえます。「プライドの高い」など、ずり上がる読み方が癖になっていると思います。放送部アナウンサーの朗読としては、高く評価するのが難しいです。「忘れられない 今までの」など、全ての音に責任を持ってください。課題に入っても十分に気持ちの切り替えができませんでした。崩れ落ちないようにしている感じを表現するには、いいかな？

第68回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	講評	講評(課題)	安田先生講評
7	西成	ノリコ	318	声が特徴的でよい。全体的にフラット。「15年」のアクセント。抽出箇所は、なぜここを選んだのか？セリフは話し言葉の息で。場面を頭に思い描いてそれを語ろう。赤青白、そんなに大切ですか？読んでいる状態になっています。表現、もっと工夫できるのでは？タイトルコール、しっかり。「小さな」だけが強い。	セリフ、とても良い ◎。天外の受けた衝撃の大きさがわからない。千栄子の強い思いが伝わらない。文全体のイントネーション、工夫を。表現、もっと工夫できるのでは？強弱をつける箇所に違和感があります。	覇気がほしいです。番号を言った時点でくたびれているように聞こえます。「そりゃもう工夫しました」は一息で言えると思います。せりふが終わった後の、地の文は、わりと積極的に読めたと思います。「という」のほうが高く強いのはおかしいです。課題。語尾で息を吐きだすのが癖にならないようにしたいです「つぶやいた」などです。
8	大市立	富江	343	声自体は聴きやすいが、ところどころ、単語の発音が弱い。「ももひき」のアクセント。直吉の声の表情、疑問。もっと声を前に出そう。セリフ、多すぎる。地の文でもっと表現を。情景が浮かぶ。セリフ表現、力んでいる。いい声です。「いつもの」のアクセント。妄想シーン、もっと落ち着いて。ラストの一文、弱い。	最後は良い。「今、弱気になったらあかん」が演技過剰。セリフ表現力んでいる。千栄子の言葉、迫力ありましたが、違和感もありました。	本文は積極的なのに、番号から作品名までが低音になってしまいました。「このまま…」は、誰かに積極的に話しかけているように聞こえました。空想を膨らませている様子を、あんまりやかましく表現しないでいいと思います。「ぎゅぐ」と聞こえます。音量的変化に頼らずに表現したかったです。語り口はさわやかでした。課題。自分を叱咤している言葉は、そんなに大声かな？せつかくのソフトな語り口なのに、もったいないです。
9	夕陽学	三橋	入選	声は良いが、強弱が甘い。全て強く聞こえる。テンポと間と表現は良い。時計屋のセリフ、これでいい？プレス作り方には、もう一工夫ほしい。豊かな響きのある声。場面転換がわからない。なぜ、この抽出？ここだけ切り取られると、何がなんだかわからない。滑舌注意。表現工夫している。何が「ありありとわかる」のか、大事なところが聞き取りにくい。会話文と地の文の境目がわからなかった。	衝撃を受けた男のセリフになっているか？落ち着いた読み。「立ち直ることができる」の前の間が不自然。スピードを工夫しながら、つたいたいことを立てている。ダ行、注意。最後の一文、違和感。	「平凡な…心は」まで一息だと思えます。声の威力はよく分かりましたが、この場面を読むのなら、もうちょっと柔らかな語り口でいいと思います。「あるいは」など、むやみに強くなった箇所があります。「自分の後悔」のあとのポーズが長すぎたと思えます。「…ような笑顔」なので、「ような」で下がってゆっくり休むのはもったいないです。課題。「うなだれてつぶやいた言葉が殺気立っています。「さえあれば」が急いでしまいました。
10	帝塚山	和田	6位	流暢だが単調にも聞こえる時も。「地の文＝父親」の言葉のはずなのに父親らしくない。意味を伝えるように読んで下さい(冒頭の長い文)。後悔している場面、これでいいですか？世界観を出す工夫をしている。聞き取りやすい声。父親視線のはずの地の文に違和感がありました。いい場面だと思えます。	天外のセリフはOK。千栄子の「」は内言のはず。決意らしく。「今、弱気になったらあかん」はこれでいいですか？意味の伝わる読みでした。	タイトルだけ急いでしまった。「父親が…危険かは」まで一息だと思えます。地の文は、自然に話しているので、素直に理解することができました。「印らしい」のあとの口呼吸の音が気になりました。「寒風」に「さむかぜ」のルビがありましたか？課題。つぶやき、空虚な感じを出したいのは分かったけど、ちょっと女子っぽかったかな。「今弱気に」は難しいね。震えなくてもいいと思います。
11	市立南	池田	343	全体に自然体で聴きやすい。前半、もっとゆったりしてもいいのでは？面白い場所だが、その発見の高ぶりが伝わらない。「日は好日」のイントネーション。長い文の処理に注意。前半から後半への気づきの驚きと喜び、伝わらない。読みが単調に聞こえます。同じテンポ。」	後半、もう少し整理して。間とテンポ、工夫が必要。場面、描いて。スピードの工夫がほしい。ラストの一文にもうひと工夫を	「じゅういち」の発音が雑でした。「ような」の立て直しは要らない。「お茶とは…かもしれないのだ」まで、もっとしっかり伝えてもいいと思います。「どんな日も」はもっと高いたいです。「ことりと」がやかましいです。子音のs、shの発音を見直してください。「好日」は平板のほうが耳なじみがあると思います。課題。「ちえこは」のあとのポーズが不十分だったかな？ちえこの心の声、ちょっと焦ってしまったと思います。
12	浪速	高垣	335	声がきれい。セリフの使い方は上手。地の文に変な強弱をつけ過ぎ。文末の終わり方の音のさばきが悪い。好々爺のあくせんと。フレーズの作り方に工夫を。「日は好日」のイントネーション。「父」の発音。慌てているよう、もっとじっくり表現してほしい。場面を考えた表現を。タイトルのアクセント。「たまには」が「たまにあ」に聞こえるなど、滑舌が曖昧。	天外のセリフ、今一つ。千栄子の決意の表情、これでいいか？後半、関西弁に気をとられすぎて意味が伝わらない。スピードの工夫を。ラストの一文、弱気に聞こえます。	作者名と作品名でワンセットだと思います。「電車で」の「しゃ」「その帰りに」の「そ」など、発音が不鮮明です。放送部のアナウンサーとして朗読しているので、全ての音に責任を持ってください。「遅いからー」と伸ばすのですか？実の親子の会話だよ？「私は中学生の頃から」ではないと思います。意味の切れ目と音の切れ目を合わせましょう。課題。「うなだれ」など、正しく発音できない言葉がありました。ちえこの心の声が、舞台上で言ってるせりふのようになってしまいました。

第68回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	講評	講評(課題)	安田先生講評
13	府箕面	生田	341	自然体の読みに好感が持てるが、全体がセリフっぽく聞こえる。「雨の日は」の「は」に注意。もっと素直に。文末の「た」に注意。ソクソク感を伝えて。文章全体で話し言葉の息を意識したイントネーションを(一文目それでいい?)。気づきから喜び、おどろきに変わっていく気持ちの変化を表現して。「日は好日」のイントネーション。「サ」「ツ」に注意。音の幅もととれる。表現の工夫を感じる。語りかけられているように感じた。「ザ行」に注意。	天外のセリフの間、文末の処理に注意。もう少し、じっくりと表現してほしい。「必ず」の後の間、不自然。「間」を工夫していることが伝わる。「ちえこは今」の係り方が気になりました。	「好日」は平板のほうに耳になじむと思いました。「冬には」など、発音が口ごもってしまう箇所があります。吹かれに注意。「楽しんで」は「のし」が同じ高さです。「自分で…ぶつかった」のあたり、むやみに低く怖くなりました。「なんだろう…」は、かわいらしくなりすぎたと思います。課題。地面の文が、もごごした発音になっています。「先生の命や」のあたり、そんなに興奮したかな?さわやかな語り口は良いと思いましたが、変化のつきかたが内容と合わなかったかなあ。
14	信愛	大谷	5位	良い声です。地の文をもっと抑えると良い。テンポの変化、間の取り方に工夫があっただけいい。場面が浮かぶ。地の文、もっと状況をきちんと伝えて。文末が苦しう。話し言葉の自然な息で。間の取り方、工夫ができています。「母親」の「はは」が聞き取りにくい。「娘よ」のセリフ、場面に合っていました。	天外のセリフには、もっと間があってもいいのでは?「今、弱気になったらあかん」が演技過剰。後半、もう少し変化がほしい。息が入りすぎ。	「母親の病気」のアクセントはつぶれないほうが良いと思います。地の文の母音の発音が、やや真ん中に寄っていて、放送部アナウンサーの発音としてはやや不安でした。母のせりふ、工夫がよく分かりました。「いなかった」はつぶしてはいけないと思います。やはり、情報伝達の技術に不安が残ります。課題。「膝をついて」がずり上がってしまった。「今」のあとのプレスがじゃまでした。ちえこの心の声はうまいっと思えます。
15	夕陽学	植村	335	耳に残る声が良いが、その分、全体が同じ強さで聞こえてしまう。もう少しトーンを弱めてもよいのでは?店主が若すぎる。「〜とおっしゃられ、の」と高い。ここを選んだのはなぜ?店主が客に語る息になっていない(そんなイキイキ話さ?)。昔を語る口調で。俳優のセリフ、店主の口から語ってほしい。セリフ、不自然なイントネーションあり。聞き取りやすい声。「知っていました。」の入り方、それでいい?会話文の終わり方、違和感あり。	天外のセリフのテンポ、千栄子の言葉のテンポに違和感。もっと、じっくり表現してほしい。「必ず」の後の間、不自然。助詞、少し強い。速い。テンポにもう工夫を。	「海」は「う」だけを高く。店主さんは、そんなに魅力的な声で、まるで大勢の前でスピーチするみたいにしゃべってたかな?「とおっしゃられて」が急に高く強かった。プレスの直前の助詞が、ほぼ全部強く長くなっています。「道具」のアクセントが違います。どんなに明瞭な声で積極的に語る事ができても、この場面に合わない表現なので、高く評価するのは難しいです。課題に入ってから切り替えができました。地の文が、あなたの滑舌力を超えて速くなったと思います。
16	浪速	山原	341	全体的に良い。自然体の中に適切な強弱があるところが良い。店主の話すテンポはいい感じ。ここを選んだ理由は?「鏡」をもっと丁寧に。文末、息が漏れています。話し言葉の息になっていない(店主が客に話しかけているのですよ。)。くしで」が聞こえない。イントネーション不自然。声が前に出ていない。速いように感じる。マイクを通すと、とても良い声でした。賞状の前の文がわかりにくい。ラストの一文、そこで終わっていい?	天外のセリフ、良い。千栄子のパート、もう工夫ほしい。句末が伸びる。セリフを工夫すると、もっと良くなる。ラストの一文に力がない。	最初の文は質問なのかなあ…「気に入ってくれたようですねえ」という意味合いではなくて?店主が誰に向かってしゃべってるかな?客はすぐ近くにいるよね。「しゃきん」とか、擬音語擬声語を大切にすることが、この作品の朗読の演出として良いかどうか、迷うところです。「とこやと…だったけ」は一息だと思えます。文末以外の場所でも最低音まで下がってしまっています。課題。てんがいのつぶやきは、そんなに慌てふためいたものだったかな?「劇場よりも…」が、説明口調になってしまいました。
17	四天東	小畑	326	好感が持てる自然な読みだが、朗読ではもう少し場面が想像できるように、強弱や間、店舗で変化をつけて。もっとゆっくり方がいい。文末はしっかり下げる。ここを選んだ理由は?緊迫感ほしい。前半が単調に響く。細かな音が聞こえない。声を前に出しましょう。セリフ、話し言葉の息で。地の文、しっかり意味をとらえて読もう。危険が迫っているように感じられなかった。ラストの一文、もう工夫を。	天外のセリフが良くない。千栄子の気持ちをしっかり伝えて。モノログ、必死さほしい。表現、もっと工夫すると良い。軽く感じました。	火事場の描写から始まっていますが、その場の緊迫感を伝える努力をしてほしいです。長閑な光景のように聞こえます。「炎の柱」など、鮮烈な言葉が低音に埋もれています。どんとくたびれて低音になり、速度も上がって滑舌が追い付かなくなってきました。課題。普段と比べて低音に頼りすぎていると思います。ちえこの心の声になって、やっと積極的になっていきました。
18	堺西	三崎	335	言葉が明瞭なのは良い。セリフも良い。地の文が少しせ読み聞こえてしまう。地の文は、もっと淡々としていてもいい。母のセリフはこれでいいか?文末がやや苦しいか。地の文が感情に引きずられ過ぎ。母親のセリフはそれでいいですか?場面、浮かびにくい。「私が誰だか〜」のセリフ、「娘よ」のセリフに違和感がありました。	モノログ、話し言葉の息で。聞き取りやすい。	音域を広く使いたい。高音もっと使える。「種類」のアクセントは平板ではないはず。「肉の薄いほほを引きつらせる」のように、説明しているだけの場所で、ずり上がるイントネーションは使いたくありません。こういうのを聞いてしまうことになってしまいます。母親のしゃべりかたが、洋画や韓国ドラマの吹き替えのように聞こえましたが、この表現が最適だったかどうか。課題。「劇場が…でけへん」は無表情のつぶやきには聞こえませんでした。「よりも」をそんなにわざとらしくなくていいと思います。

第68回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点/500	講評	講評(課題)	安田先生講評
19	四天	榎本	335	自然な読みが良いが、語尾が伸びる癖がある。もう少しゆっくりでもいい。先生のお辞儀の様子が見えない。ドラマチックではある。「日日是好日」のイントネーション。状況をもっと丁寧に伝えて。場面を思い浮かべようとしても追いつけない。場面の表現、もっと情景が浮かぶように。最初の「薄茶」が聞き取りにくい。最初の数文、必要かな？	天外のセリフに衝撃が感じられない。千栄子の決意を伝えて。話し言葉の息で。音の高低の工夫をすると良い。最後の2文、もう少し工夫が必要。	番号と比べて作者名が消極的でした。「お点前」は「て」だけを高く。「濃茶」は平板では？「すーと」のような擬声語に工夫を凝らす読み方は、この作品に適しているかどうか…。「あらゆる」で積極的になりました。そんなに高い声も出せるなら、全体の音域をもっと見直してほしいです。課題。てんがいは、そんなに明瞭な発音で大声でつぶやいたかな？「死なせたらあかん」が、誰かにぶつけているように聞こえました。
20	槻の木	宮崎	326	人物二人の声の変化が少し弱い。意味のない箇所でも音が強くなる時がある。マイクに近い。人物関係が見えない。ドラマチックではある。冒頭のセリフに無理に低い声を出そうとしていて苦しんでいる。レイディキャザリン、それでいい？声色ではなく、話し方で人物分けを。良い声。間の取り方工夫している。最初の文、そこまでシリアスにしないでいいのでは？	天外のセリフに喪失感がない。後半、感情が入りすぎ。文末、苦しい。モノログ、それでいい？表現工夫するとい。演劇調。天外のセリフ、伝わりました。後半、切りすぎ。	「引き裂かれて」のあたりの、迫りくるような表現を使いたいなら、1文目を、もっときっぱりと言い放つほうがいいと思います。「理屈はそうね」で人が後退したことが分かりにくい。「ずばりとおっしゃい」は、次の質問を突き付けるための言葉だと思うんだけど、ちょっと違う感じになっていると思います。課題。放送部アナウンサーの朗読として聞くと、地の文が低音で母音が口ごもっているの、高く評価していいかどうか難しい。表現力だけは分かったけど、放送部アナウンサーとしての積み重ねをアピールする場面が少なかったと思います。
21	相愛	吉澤	3位	声がよく届く。全体がセリフっぽく聞こえてしまいます。会話文と地の文の変化を。息の多い発音。高揚感・幸福感が感じられる。もっとながながしく表現してほしい(そういう場面ですよね?)。普段、話している声で表現しよう(朗読用の声は不要です)。情景が浮かぶ。聞き取りやすい声。表現の工夫を感じましたが、息が入りすぎている感じがしました。	天外のセリフ、あと一歩。モノログ、関西弁を気にしすぎて、表現の工夫ができていない。場面を理解して読もうとしている。場面、浮かびました。	「のりこ」など、頭高アクセントが不鮮明です。「手順」は頭高のほうに分かりやすいと思います。吹かれに注意。「痛いほど激しく」の「どは」が不鮮明。鼻呼吸を導入できれば、さらに流れが良くなると思います。できれば最後は、ふわっとした声ではなく、しっかりと胸に響く声に戻りたいですね。課題。「大きな…つぶやいた」という地の文のほう、つぶやきになってしまいました。
22	大市立	陳	入選	声がキレイ。セリフと地の文の変化が上手。先生のセリフの表情、少し違う。最後の文がハッキリしなかったのが惜しい。うねりが気になる。話し言葉の息で。場面転換じっくりと間をとって。「でも一体」が急にうわずる。倒置、わからない。セリフがオーバー。タイトル、いい感じです。「ジ」が「チ」に聞こえます。ラストの一文、切って読む必要はありますか？	セリフの部分、演技過剰。天外のセリフOK。千栄子のセリフは違和感。天外のセリフ、千栄子のセリフとも違和感。後半、違和感ありました。	本文は積極的なので、番号から作品名までが不発なのは惜しい。「火葬場まで」など、ずり上がっている箇所があります。「人生に」など、高い音の部分が、裏返ったような、頭のほうに抜けた声になっていますが、1種類の声で読み通すほうが、アナウンサーの朗読としてはお薦めです。「しかない」で下がりすぎてしまいました。課題。最初のつぶやきかた、工夫はよく分かりました。「今弱気に」は、やかましくなりすぎたと思います。舞台上のせりふではないので…。
23	桃山	元岡	343	好感の持てる読み。二人の声の変化も良い。地の文の読みも良い。レインのリズム感を活かして。文末、しっかり下げて。ここで伝えたいのは何？単調。場面を考えて聴き手が思い浮かべられるように伝えて。間とスピードを工夫しよう。同じ調子で聞こえるので、表現の違いを工夫して。聞きやすい声。2人の会話が続くと、どっちがフォレストなのか分かりにくい。ラストはそこでいいですか？	天外のセリフが良い。千栄子のパートはそんなに太い声が必要か？モノログを話し言葉の息で。後半の大阪弁、違和感がありました。	アクセントの高低差が狭すぎる箇所があります。「レイン」の連発…予習せずに聞いている人もいるということを考えると、抽出箇所として少し不安な箇所です。二人の子供の会話、矢継ぎ早なやりとりをしたいのだと思いますが、ちょっと分かりづらかったです。課題。最初のつぶやき、ちょっと暗黒女子みたいに聞こえました。「よりも」のアクセントは要るかなあ？
24	信愛	松下	344	よく届く声で良い。全体的に変化のつけ具合が良い。テンポに工夫を。セリフはもっと考えて。主人公は何歳？冒頭の表現、それでいいですか？「震えていた」の音がつぶれています。「パララ〜」急に音が大きくなる。地の文に気持ち入りすぎ。息が入っています。マイク、近いのでは？この場面では伝えたいことは？擬音の後の地の文、擬音につられて大きくなっています。	千栄子の「」の働きは？セリフ、気持ちよく読んでいたけれど、それでいい？単調に聞こえます。全体、強すぎます。	タイトルコールの三つの情報、アクセントの高低差を広く使いたいです。クラクションをリアルに表現してもしまなくていいけど、音量が上がりがちだと思います。「ふれていた」に聞こえます。「逃げよう」の前のじらしは、何のためかな？課題。「今」のあとのプレスが謎です。今回のようにマイクとスピーカーを使って大勢に届ける時、音量の変化に頼らない工夫も必要だと思います。

第68回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	講評	講評(課題)	安田先生講評
25	相愛	辻本	2位	難しい作品。言葉が丁寧で良い。地の文がセリフっぽく聞こえる所あり。息の多く混ざった声は不必要。文末、しっかり止める。丁寧に表現しようとしているが文末が聞こえない。朗読用の声ではなく、普段の自分の声で表現しよう。スピード、立て方、工夫している。情景が浮かぶ。よく表現している。聞き取りやすい声なのに、最初の数文の単語が聞き取りにくい。ラスト一文、もう一工夫を。	天外のセリフ、良い。地の文、落ち着いている。テンポが同じ。	「浅草寺」は「せ」だけを高く。「ひっそりと」の「ひ」は無声化。「ふと」のあとにポーズがありますが、そうかな？「子wo」には違和感があります。「向こうに」は中高のほうがいいと思います。「するように」を丁寧に扱うのはどうしてかな？課題。最初のつぶやきは、低音のゆとりをうまく使ったと思います。これができるなら、地の文の文末をもっと下がることできるとと思います。
26	四天東	千葉	316	「日々是好日」のアクセントはそれでいい？読みは癖がなく好感が持てる。会話文、あと少しだけ変化をつけてみては？もう少し丁寧に。文末の「た」にもう少し工夫を。早い。一つ一つの動作をきちんと描いて。文末、あわてているように聞こえる。音の幅、もつと表現すると良い。地の文が速い。タイトルコール、もう少し丁寧に。文末、もつと丁寧に。声の高低を使いたい。	テンポも考えましょう。速い。もつとじっくり表現しよう。テンポが同じ。	タイトルコールと本文が違いすぎると思います。これから朗読を聞いてもらう準備なので、一貫性がほしいです。「ひしゃく」の「ひ」は無声化。「音が違うのだ」のあたりから、やっ和高音も使われだして積極的になっていきました。この作品を語るテンポとしては、もうちょっとゆったりでも良かったと思います。課題。せっかく印象的な場面なので、地の文をもっと積極的にしたいです。放送部アナウンサーとしての経験も積んでください。
27	信愛	乾	343	「重く」のアクセント。声がとても良く、聞きやすい。よく変化がつけられている。アクセント注意。時計屋の人物像が見えない。あの終わり方でいいの？「父」の発音。場面転換は、もつと間を作って。店主の声を低く表現しすぎていて、苦しそう。終わり、それでいいですか？抽出箇所、これでいいですか？表現、工夫しようとしている。場面理解を深めると、もつと良くなる。いい場面ですが、一文前で切った方がいいのでは？	天外のセリフ、良い。もつとじっくり表現しよう。全体が同じように聞こえます。	「時計」は「とけー」と発音してください。「重く」のアクセントは平板です。吹かれに注意。高い音域があまり使われないので、全体がくたびれて聞こえます。「ぼとりと言葉を落とした」と普通に言うだけでいいと思います。鳩時計は、そんなに大きな音かな？時計屋さんは、ずーっと低音だけでしゃべるの？擬音語擬声語の部分が、どうしてもやかましくなってしまう。課題。地の文まで打ちひしがれた口調にならなくていいと思います。
28	箕面自	野嶋	317	「日々是好日」のアクセント正しい？声よく届く。自然体の読みで良いが、もう少し会話文に変化ほしい。一語一語をもつと丁寧に。声に表情をつけ過ぎる傾向あり。先生の人物像がわかりにくい。ここを選んだ理由は？一つ一つの状況をもつと丁寧に。「あ」と声が入ってない。何の「あ」？間を工夫しよう。武田先生はそれでいい？地の文速い。幅をもつととると良い。テンポ工夫している。最初一文の単語が聞き取りにくい。一音一音大切に。	千栄子の決意が伝わらない。モノローグは話し言葉の息で。心中詞にもう少し思いを入れても良いのでは？	「はちばん」が滑って聞き取れませんでした。お点前の描写、ライブ感がほしいです。低音だけに頼らないで、高い音も自然に組み込めるようにしてください。「差し込んで」の「さ」など、全ての音に責任を持ってください。放送部のアナウンサーとして朗読していることを忘れないで。「手」は「て」だけを高く。「どういうわけか」は何に係るかな？意味のまとまりを作ってください。課題。地の文が、表情の無いつぶやきのような読み方になってしまいました。「今」のあとのポーズは要らないと思います。ちえこの決意がよく分かりませんでした。最後まで、うつむいたつぶやきのようでした。
29	浪速	刀禰	1位	よく届く聞きやすい声。意味をよく捉えられていることが音の強弱でわかる。少し音がこもる。先生のお辞儀が見える。自然ないつもの声で表現しよう。朗読用の声は要りません。ここは気づきの場面ですが、文末が暗く響くので伝わりません。表現、よく工夫している。「自然にすーっと」の文、場面が浮かびました。最後の一文、シリアスによまなくていいのでは？	天外のつぶやき、細すぎる。最後の一文の表情に疑問を感じる。「今弱気になったらあかん」が演技過剰。モノローグは話し言葉の息で。ラストの一文、違和感あり。	音域をもうちょっと広く使いたいです。上も下も、もつと余裕があると思います。吹かれに注意。どれに似ていた？比喩表現の途中の大きなプレスが邪魔でした。「形」の「ち」がtsiのような違う音に聞こえます。ちよつとささやきになりすぎだと思えます。もうちよつとしゃきつしたほうが、演出も楽です。課題。地の文のささやき癖が気になる。ささやきは、いざというときの引き出しであって、全部ではないと思います。
30	四天	吉田	4位	良く響き届く声。マイクの使い方が気になる。緊張感は伝わる。抽出、ここからいいですか？どんな場面か、ここだけ切り取られてもわかりづらい。「フクシ」の発音。テンポや間を工夫するとよい。「フォ」がマイク吹いています。この場面の意味が伝わりました。	天外のつぶやきが子どもの声に聞こえる。間を工夫して、じっくり描こう。ラストの一文、もう一工夫ほしい。	冒頭のせりふが、さすがにやかましくなりました。音量の変化に頼らない伝え方を考えてください。吹かれに注意。地の文の音域が狭すぎて、せりふと完全に分離しています。放送部アナウンサーとしての力も問われているので、せりふだけが生き生きしていると、どう評価するか難しくなってしまいます。課題。やはり、地の文が暗くてセリフだけ張り切っているように聞こえます。自分に言い聞かせる言葉は、そんなに張りのある声で最初から最後まで言うかな？

第68回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点/500	講評	講評(課題)	安田先生講評
31	信愛	松岡	344	よく届く発声が良いが、それゆえに、全体的に強弱の変化が少なく感じられる。難しい作品だが、よく読めている。二人の人物関係がもう少し伝わるとよい。古文であっても話し言葉の息で語る点は同じ。間の取り方やテンポ、それでいいですか？無理な低い声、苦しい。テンポ、工夫している。表現の工夫をすともっと良い。ラストの一文、切らずに読んだ方がいいのでは？人の名前、わかりにくい。	千栄子の部分の切り方、これでいい？間の取り方、テンポが不自然。プツプツ切れている感じがする。聞き取りやすい声。「きつと〜」の一文、不自然。	作者名のほうが先です。「昨日今日咲きぬる」は続くのでは？「我が…」はとても低く重々しくなっていますが、そういう大胆な切り替えをしなくてもかまわないと思います。「ねごーわ」では？「をもて」が「んを持ちなさい」と言っているように下がって止まってしまってます。文脈をきちんと理解して読んでくれたのかどうか、判断できませんでした。課題。「膝を」だけ低いのはおかしいです。「今」のあとのポーズは要らないと思います。「きつと」だけがなぜか弱くなりました。
32	三国丘	高岡	入選	場面の想像ができる。間と、音の強弱が良い。初めの部分、セリフらしくしようとすると男性には無理が出る。武田先生のセリフ、良い。なんだか意地の悪い雰囲気聞こえてきます。自分の声質、表現の特徴を把握して作品を選ぼう。音の高低をもっと工夫すると良い。全体をドラマチックに読み過ぎです。あっさり読む部分も作った方がよい。	天外のセリフ、もう一工夫を。モノローグは話し言葉の息で。天外のセリフ、良いです。千栄子のセリフに違和感があります。	音域を広く使えるのは分かった。タイトルコールが低音になりすぎていると思います。吹かれに注意。緩急をつける力があるのは分かったけど、この作品の朗読としては、そこまであたたかした感じにする必要があるかどうか。「これでもできないでしょ」など、めいっばい意地悪な感じにしたんだろうけど、これも、そーんなにデフォルメする必要があるかなあ…。課題。課題のほうが安定感があって好感が持てました。「今」のあとのプレスは邪魔でした。全国に出るなら、せつかくの低音が活かせる場面を探してほしいです。
33	浪速	石橋	348	よく間も取れ、場面が見えてくる読み。強弱が良い。父親の年齢は？最後の部分に違和感あり。コメディークな場面、もう少しテンポよくコミカルに。話し言葉の息で表現しよう。スピードをコントロールし工夫している。男性のセリフ、雰囲気合っています。「何を言われることか」の部分、シリアスに読みすぎ。	「何もでけへん」のイントネーション。千栄子の部分、たまたまかけてもいいのでは？地の文をもっとしっかり表現しよう。モノローグは話し言葉の息で。間の取り方、工夫できています。ラスト一文、違和感あります。	「思いっきり」を低くしないでいいと思います。あるいは、「おもいっきり」のあとで、あえてポーズとか。「どれでも」は頭高アクセントのほうが積極性が表現しやすい。「会社だ」がぶれてしまいました。「何を言われようか」を、しっかり読み上げなくていいと思います。「目が覚めたら」など、文末でない箇所でも最低音まで下がってしまうのが残念。課題。てんがいのつぶやき、空虚な感じを模索したのが分かりました。「よりも」のアクセントは、そんなに残さなくて良かったと思います。
34	大市立	濱田	入選	間と速度、良い。セリフが暗い。時計屋の人物像は？地の文、もっと丁寧に。愚鈍な聞き方って、どんな聞き方？店主の話方、それでいいですか？鳩の音だけ、突然高くなります。変化をつけようと工夫している。タイトル、丁寧に読んでいる。二人の対話がわかりやすいです。ラストの一文の前に間がほしい。	テンポ、速すぎます。セリフに酔わずに自然な話し言葉で。	ややマイクから遠かったかな？作者名のあとのポーズが長すぎた。「ため息」は「めい」が同じ高さです。時計屋さん、そんなに最初から最後までゆっくり話したかな？最初からしみじみだっただけかな？重くなったのは「私」だけでは？「7分」は2個目の「な」だけを高くします。「上がるか」だけ低いのはおかしいです。自然なイントネーションが身に付いていないので、全体が卑屈になってしまいました。「たんがんきょう」だと思います。課題。「ひざーついて」に聞こえました。放送部アナウンサーとしての力を身に付けているかどうか不安なので、高く評価するのは難しいです。
35	帝塚山	奥田	340	「鉢植え」「雨水」のアクセント。全体のトーン、間は良いが、全体が同じトーンにも聞こえる。一音一音、しっかり届けて。最後のまとめをしっかり押し出しましょう。朗読用の声ではなく、普段の自分の自然な声で表現しよう。難しい場面を工夫して描こうとしている。速い。調子が一定に聞こえる。全体がささやき声になっている。	テンポをもっと考えて。モノローグ、自然な話し言葉の息で。大阪弁に違和感がありました。	番号からささやき口調になってしまいました。「た」で終わる文など、発音が横につぶれてしまっています。「もうここまで」の前のポーズがとても長いのは、どうしてかな？「鉢植え」のアクセントが「父上」と同じになってしまいました。「雨水」は頭高だと思います。課題。地の文は、音域を広く使えるようになりました。放送部アナウンサーとしての経験を積んでください。課題では横開きが改善しました。
36	桃山	武田	341	人物の読みわけがよくできている。速度も良い。聞きやすい良い声。一音一音もって丁寧に。そこに流れる汚染の気持ちは？一つ一つの言葉を聴き手に丁寧に伝えましょう。自然な話し言葉の息で。テンポに変化がなく単調に聞こえる。「今は」「いまあ」に聞こえるなど、滑舌に注意。急に高くなったり低く鳴ったりしますので要注意。	千栄子のセリフいい。最後の一文の扱い方、疑問。地の文、もってつきりと。ラストの一文に違和感あり。	「30」のアクセントは「さ」だけを高く。「むこっき」でもいいと思います。「必ず」だけ独立しなくていいと思います。「せつかく…」は、ほんとのセリフみたいに嬉しそうでした。「頼んだ以上のこと」を自然に言いたいです。「来てくれるなどさえ言った」でいいと思います。「おまえのことだけは」という意味ではなく、「お前をひとりだけ死なせたりはしない」というニュアンスかな？課題に入ったところで、全体として発音が雑になってしまいました。放送部アナウンサーとしての経験も積んでいってください。